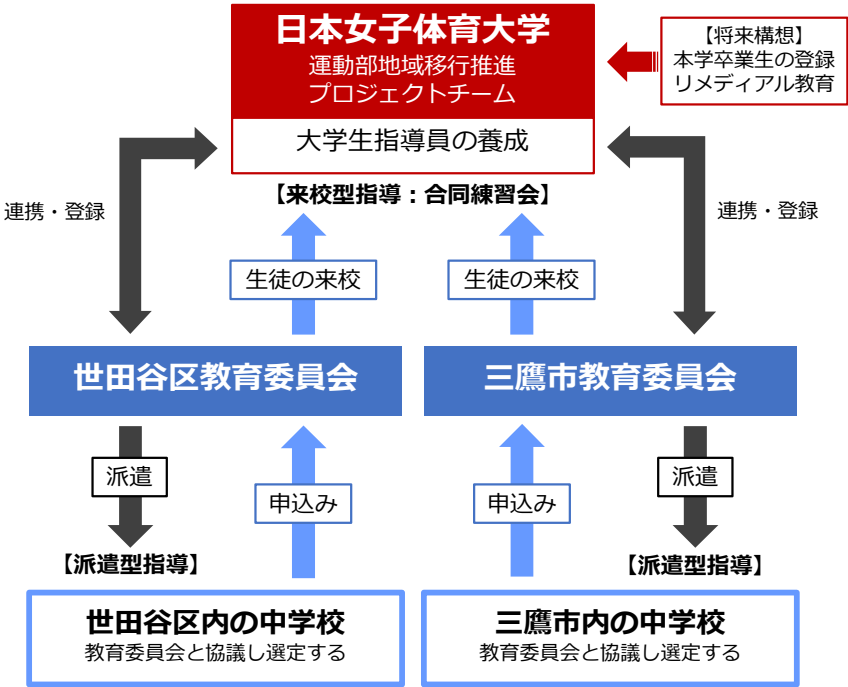


実施計画名	日本女子体育大学と近隣自治体の連携による運動部活動の地域移行システムの構築 ～女性指導者の持続可能な指導活動を目指して～
事業概要	<div>①近隣自治体の中学校における運動指導（派遣型指導）のモデルケースの実施</div> <div>②大学での合同練習会（来校型指導）のモデルケースの実施</div> <div>世田谷区および三鷹市の中学校を対象に、大学生指導員の派遣および大学の体育施設を用いた合同練習会を実施する。</div> <div>③日本女子体育大学オリジナル大学生指導員の養成カリキュラムの検討</div> <div>上記①②をもとに、大学生指導員の資格認定のための養成カリキュラムを検討し、2026年度の本格始動を目指す。</div> <div>将来的には、本学卒業生のリメディアル教育として育児などを経ても運動指導に携われる仕組みづくりを目指す。</div>

■大学生指導員の養成・確保に当たっての仕組みやフロー

学内にて大学生指導員を養成し、世田谷区および三鷹市の中学校へ派遣する。
また、大学の体育施設を用いた合同練習会を実施する。対象のスポーツ種目は、陸上競技、バレーボール、バスケットボール、サッカーとする。
将来的には、本学卒業生のリメディアル教育としての機能を持ちつつ、女性が妊娠・出産・育児などを経ても運動指導の現場に携わることができる仕組みづくりを目指す。



■実証事業の検証・評価方法

- 定量的評価：
- ・派遣した中学校の学校数、学年、生徒数、部活動の種類
 - ・派遣された学生の人数、指導時間、指導内容
- 定性的評価：
- ・派遣した中学校の教員へのヒアリング調査
 - ・大学生指導員の指導内容、生徒との関わり方、教育的配慮の仕方
 - ・指導を受けた生徒の運動部活動への興味・関心、技能の習得程度
 - ・大学生指導員による自己評価
 - ・担当した部活動の指導計画および指導内容、生徒との関わり方

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）

